



6



2



1



7



8



9



3



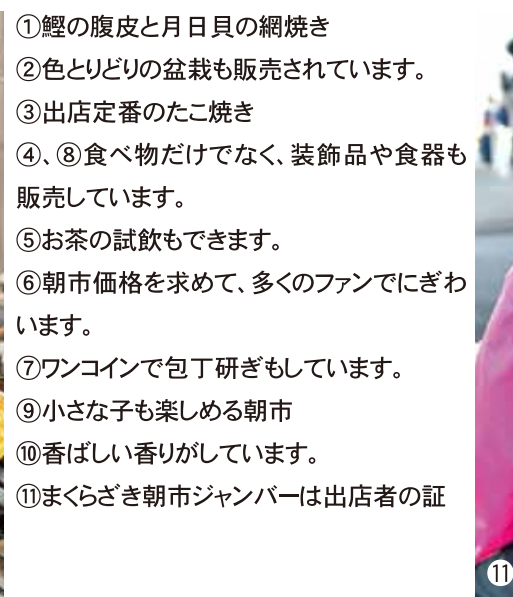
4



5



10



11

- ①鰹の腹皮と月日貝の網焼き
- ②色とりどりの盆栽も販売されています。
- ③出店定番のたこ焼き
- ④、⑧食べ物だけでなく、装飾品や食器も販売しています。
- ⑤お茶の試飲もできます。
- ⑥朝市価格を求めて、多くのファンでにぎわっています。
- ⑦ワンコインで包丁研ぎもしています。
- ⑨小さな子も楽しめる朝市
- ⑩香ばしい香りがしています。
- ⑪まぐらざき朝市ジャンパーは出店者の証

# 特集 まぐらざき朝市へ いらっしやい!

毎月第3日曜日の午前7時から開催されているまぐらざき朝市。今年には新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催が中止された月もありましたが、最近にはにぎわいを取り戻しつつあります。

平成9年にスタートし、今年で25年目を迎えるまぐらざき朝市ですが、朝市を訪れたことのない市民の皆さんも多いのではないのでしょうか。「朝市価格」と呼ばれる通常より安い価格で商品が販売されていたり、うどんやたこ焼きなどの出店もあることで、朝ごはん代わりに食べていく朝市ファンの方も多数います。

## 朝市は月に1回の楽しみ

今年の4月からまぐらざき朝市出店者協議会の会長を務める上木原貢さん。「朝市はいろいろな人と会える月1回の楽しみでもあります。皆さんの交流の場になってもらえれば」と話します。

まぐらざき朝市出店者協議会のメンバーとして、過去には山口県の下関や佐賀県の唐津の朝市に視察に行ったこともありましたが、他県の朝市に刺激を受け、枕崎の朝市を少しでも盛り上げていこうと、日々奮闘しています。現在、協議会には26店舗の登録がありますが、朝市をもっと活性化していくため、そして少しでも朝市を長く続けていくため、さらなる店舗の増加を目指します。

「朝市を開催する時には、朝7時に花火を打ち上げますので、枕崎市民で朝市を盛り上げていきましょう」と話します。



まぐらざき朝市出店者協議会  
会長 上木原 貢 さん

## 朝市の灯を30年、40年と

「これまで野菜・果物の詰め放題や伊勢海老祭りなど、色々な取り組みをしてきました」と話す揚野俊清さん。まぐらざき朝市出店者協議会設立時から運営に携わり、平成26年からは4代目の会長を務めました。

毎月の朝市は、揚野さんにとっても月1回の楽しみ。朝市でしか会えない出店者との会話も弾みます。「朝市の出店者で儲けようという人はあまりいないんじゃないかな」と話す揚野さん。出店者の皆さんは、お客さんに喜んでもらうと「朝市価格」で販売しているからです。また、お互いの店の売り上げが少しでも伸びるようにと、自分の店の売り上げ以上に安い物をしていく出店者もいるようです。

「朝市の灯を30年、40年と続けていきますので、近所の方をお誘いのうえ、まぐらざき朝市にお越しください」と話します。



枕崎商工会議所  
会頭 揚野 俊清 さん